

江戸時代の農村の役割

年 組 名前

小諸市の饗場^{あいば}英利さん宅で、江戸時代末期に皇女和宮^{かずのみや}が嫁ぐため中山道を下向した際の地域の状況を示す文書が見つかりました。記事を読んで、当時の農村の協力体制について、考えてみましょう。

①皇女和宮は、いつ、だれに嫁ぎましたか。

いつ—

だれに—

②饗場家は当時、小諸藩の諸村^{もろむら}の名主でした。浅間郷土史研究会代表の井出忠平さんらの解説によると、諸村から八幡宿^{やわた}（佐久市）や芦田宿^{あしだ}（立科町）に、何がどのくらい貸し出されていましたか。

八幡宿—

芦田宿—

③問い②の他に、何がどのくらい駆り出されましたか。

④佐久地域での和宮の下向に関して、1998年に当時の北佐久郡浅科村（現佐久市）教育委員会が「和宮の通行」を発刊しました。この本では、何の通達や記録にも触れていますか。また、和宮下向の随行者は、どのくらいとされていますか。

⑤饗場さんは、木箱に入って自宅に保管されている古いわんについて、何とみていますか。

皇女の下向 農村はつらいよ 小諸で物資集めた覚書発見

江戸時代末期の1861(文久元年、皇女和宮(1846〜77年)が第14代將軍徳川家茂に嫁ぐため中山道を下向した際の地域の状況を示す文書が、小諸市諸の饗場英利さん(79)宅で見つかった。「中山道始まって以来」とも言われた大行列は、道中で不足した物資を近在の村から集めており、文書はその覚書。佐久市岩村田の郷土史家小林収さん(90)は「苦勞して下向に協力したことがうかがえる」と指摘している。

饗場家は当時、小諸藩の諸村の名主で、文書は土蔵に保管されていた。文書の束を数年前から整理していた饗場さんが、浅間郷土史研究会代表の井出忠平さん(73)に佐久市岩村田に解読を依頼し、和宮の下向に関する覚書と分かった。

見つけた覚書は6冊。井出さんによると、諸村から八幡宿(佐久市)に夜具・枕60人分と水風呂桶4個、芋田宿(立科町)に膳やわん、皿50人分などが貸し出されていた。さらに人足計465人、馬52頭も駆り出された。佐久地域での和宮の下向に関しては1998年、当時の



饗場さん宅で見つかった和宮の下向関連の文書と、当時に貸し出した可能性があるという食器(奥)

(2021年8月20日朝刊・地域面(東信))

江戸時代の農村の役割

解答例

年 組 名前

小諸市の饗場^{あいば}英利さん宅で、江戸時代末期に皇女和宮^{かずのみや}が嫁ぐため中山道を下向した際の地域の状況を示す文書が見つかりました。記事を読んで、当時の農村の協力体制について、考えてみましょう。

①皇女和宮は、いつ、だれに嫁ぎましたか。

いつ— 1861(文久元)年

だれに— 第14代将軍徳川家茂

②饗場家は当時、小諸藩の諸村^{もろむら}の名主でした。浅間郷土史研究会代表の井出忠平さんらの解説によると、諸村から八幡宿^{やわた}(佐久市)や芦田宿^{あしだ}(立科町)に、何がどのくらい貸し出されていましたか。

八幡宿— 夜具・枕60人分と水風呂桶4個

芦田宿— 膳やわん、皿50人分など

③問い②の他に、何がどのくらい駆り出されましたか。

【解答】 人足計465人、馬52頭

④佐久地域での和宮の下向に関して、1998年に当時の北佐久郡浅科村(現佐久市)教育委員会が「和宮の通行」を発刊しました。この本では、何の通達や記録にも触れていますか。また、和宮下向の随行者は、どのくらいとされていますか。

【解答】 足りない物資を近在の村から集める通達や、差し出された物品の記録

約2万5千人に上った

⑤饗場さんは、木箱に入って自宅に保管されている古いわんについて、何とみていますか。

【解答】 これが当時、貸し出された品ではないか